

# 産官学連携・学外発表実績 計46件!

(2024年度~2025年度)

武庫川女子大学社会情報学部では、多くの産官学連携事業や学外発表が行われています。

連携先は企業から地域まで幅広く、多様な学びに触れることが可能です。

連携先・発表機関など	担当	活動期間	活動内容や活動成果
1 エム・シーシー食品株式会社	平井・赤岡	2021年度~現在	企業の認知度向上に向け、消費者とのつながりの強化をテーマとしたイベントの企画を運営した。
2 阪神電気鉄道株式会社	大森・眞田・吉田	2023~2025年度・各前期	阪神電車利用者の満足度調査・分析からブランド価値向上のためのショート動画を作成。公式YouTubeに採用。
3 共和化粧品工業株式会社/株式会社ロータリービジネス	和泉	2023年度~現在	女子児童向け日焼け止めを企画・商品化。SNSを利用したPR活動・対面販売を実施している。
4 セーレン株式会社/布新宅善廣商店	奥居	2024年度・2025年度	製材企業を訪問し経営者の志を学んだ。森林循環への取り組みを通じ、社会貢献の在り方を検討した。
5 株式会社日本経済新聞社大阪本社/ダイワボウ情報システム株式会社	福井	2024年度前期	ICTを活用して生徒の脳波やバイタルを読み取り、教育現場の課題を解決するアイデアを提案した。
6 株式会社パークフロントホテル	赤岡・奥居	2024年度前期	USJ公式ホテルの課題解決提案を作成し、ホテル支配人をはじめとした関係者にプレゼンテーションを実施した。
7 トリップベースホテルマネジメント株式会社/株式会社cab	平井・若田	2025年度前期	「フェアフィールド・バイ・マリオット奈良天理山の辺の道」の利用促進のための施策を提案した。
8 株式会社マール	尾関	2024~2025年度・各前期	ウェブアプリ開発の企業連携授業にて、現役エンジニアの支援を受けポータルサイト改善案を設計した。
9 株式会社マール	サイエンス専攻 全教員	2024~2025年度・各後期	集中講義にて、学内情報システムの模擬リニューアルという課題を設定し、システム設計を行った。
10 株式会社あたらし	赤岡	2024年9月~2025年1月	量・横市場の活性化を目指して、工場見学や市場拡大のための施策を提案した。
11 お菓子で世界にスマイルプロジェクト/株式会社吉寿屋	大森	2024年9月~2026年3月	万博でのお菓子みくじ展示を企画。好評につき常設館での展示も決定し、メディア対応も経験した。
12 株式会社シャルマン/福井県大阪事務所	奥居	2025年度	鯖江の眼鏡企業を訪問し技術戦略を学んだ。製品の機能と意味の両面から新たな価値を検討した。
13 株式会社ナカノモードエンタープライズ(板前魂)	大森	2025年5月~2026年1月	おせちイベントの企画運営にて若者向けビュッフェを実施した。WEBメディアへの記事執筆も行った。
14 株式会社ジャーニーゾーン	大森	2025年9月~2026年1月	「神戸ジャーナル」と連携し、記事制作に取り組んだ。記事9件が掲載され、うち1件が月間PV数でベスト5に入った。
15 株式会社HEAVEN Japan	大森	2025年9月~2026年1月	機能性下着を得意とする下着メーカーに、Z世代をターゲットにした商品開発提案を行った。
16 日本山村硝子株式会社	井上・肥後	2025年度後期	広告制作の授業にて、工場野菜や介護関連商品、環境関連事業の認知拡大を目的とした動画を制作した。
17 廣田神社	和泉	2021年度~現在	神社を核とした地域活性化を目指し、子ども向けワークショップを複数回企画・実施した。
18 兵庫県丹波県民局/丹波篠山市/実践女子大学	大森	2024年4月~2026年3月	丹波篠山の地域文化継承プロジェクトにて、郷土食や祭りをデジタル媒体で記録しSNSで発信した。
19 神戸市/(-社)西宮観光協会/株式会社WAVE	大森	2024年10月~2025年2月	「灘の酒蔵謎解き探訪」イベントを若年層や非飲酒層に広げる広報活動に携わった。
20 奈良県御杖村/大阪経済大学	奥居	2025年度	御杖村の圃場調査や導線分析を実施した。他大学と共同でデータに基づく活性化案を策定した。
21 ボケトーク株式会社/EXest株式会社/丹波篠山市観光協会	大森	2025年5月~2026年2月	AI搭載型翻訳機のガイディング実証実験を実施。モデルコース策定、WEB広告作成にも従事した。
22 鳴尾小学校同窓会	株本	2025年7月	「第2回鳴尾まつり」にて、小学生を対象としたプラネタリウム番組の企画および放映を行った。
23 三井不動産株式会社/三井不動産商業マネジメント株式会社	和泉・井上・平井	2026年2月	ららぽーと甲子園にて行われた「武庫女スマイルフェス」にて、各ゼミのワークショップを企画・運営した。
24 廣田神社/株式会社ロータリービジネス	和泉	2021年度~現在	廣田神社にて、環境と地域をつなぐ「ひろたのエシカルマルシェTHINK」の企画・運営を行った。
25 尼崎鉄工団地協同組合/ヤドリギ商店/ワークキューブほか	井上	2023年度~現在	尼崎市の都市養蜂で採取された「尼みつ」の認知拡大とイメージ浸透のため、カフェで展示や販売を実施した。
26 阪神南泉センター/ワールドクリーンアップデージャパン	井上	2024年度	「ワールドクリーンアップデー」普及活動を推進し、事務局より「インフルエンス賞」を受賞。
27 甲子園警察/丸丸仁/(-社)日本反射材普及協会/スカイマーク株式会社	井上	2024年度~現在	リフレクター普及プロジェクトにて、阪神南地域の市民祭りやKIITO(神戸市)でオリジナル缶バッジ制作を行った。
28 環境省/兵庫県庁/帝人フロンティア株式会社	井上	2025年度	甲子園でのブラカップの回収活動や分別啓発ポスター・動画などの制作を行い、成果を学外で発表した。
29 環境省/兵庫県庁	井上	2025年度	兵庫県庁主催「Grateful Day」の企画・運営支援。ブース出展や司会を通じ、プラごみ削減を広く啓発した。
30 南山大学/筑波大学/東京大学/新潟大学など	奥村	2025年度~現在	南山大学を中心に、BookReachという図書館情報学に関する共同研究を実施している。
31 神戸市福祉局/株式会社ワイドソフトデザイン	奥村	2025年度~現在	行政や企業と連携し、VR研修用シナリオの自動生成や、柔軟に内容を変更可能な可変型システムを研究している。
32 AI駆動開発勉強会/地域ICT推進協議会	奥村	2026年1月~現在	AI駆動開発勉強会神戸支部にて、運営や登壇発表を担当した。アプリ開発を通じ、エンジニアの最前線を体験した。
33 (-社)日本禁煙学会	藤本	2024年3月~11月	「禁煙CMコンテスト」に2作品を応募し、1作品が全国2位を受賞した。
34 近畿経済産業局	大森	2024年9月~2025年1月	知財ビジネスアイデア学生コンテストにて、開放特許を用いた社会課題解決案を提示し、局長賞を受賞した。
35 日本マーケティング学会	井上	2024年10月	2024年年次総会にて、夜間の交通事故を減らすための反射材着用促進プロジェクトについて発表した。
36 株式会社ヤナギ小倉屋株式会社/株式会社NTTドコモ関西	平井	2024年度・2025年度	「Kansai Business Student Competition」にて、各企業の課題解決に向けた提案を行った。
37 大阪府・大阪市 副首都推進局	平井	2025年度	副首都・大阪に関する課題解決の提案を行うコンテストに参加し、特別賞を受賞した。
38 (-社)兵庫県中小企業診断士協会	藤本	2025年4月~11月	ビジネスプランコンテストにて、空き店舗と廃棄段ボールを用いた子育て支援案を提案し、優秀賞を受賞した。
39 アマゾンウェブサービスジャパン合同会社	福井	2025年6月~8月	地域創生・社会課題解決AIプログラミングコンテストにて、堺市の魅力発信LINEアプリを提案。本選出場を果たした。
40 青山学院大学村田ゼミ/(公財)京都技術科学センター	尾関	2025年6月~11月	青山学院大学と共同で、デザイン思考を用いたオンライン完結型で学外コンテストに挑戦。「テクノ愛」で健康賞を受賞。
41 J-MICC Study 京都フィールド	大野	2025年7月~2026年1月	「健康追跡10万人x30年調査 J-MICC Study」に参加し、高齢者の足裏感覚計測を実施。
42 京都大学数理解析研究所(RIMS)	福井	2025年8月	研究会にて、大学基礎数学用三次元グラフ作成ツールの開発成果を報告。教育利用における有用性を示した。
43 計測自動制御学会	大野	2025年9月	ライブエンジニアリング部門シンポジウムにて、嗅覚順応の有無が事象関連電位(ERP)変化に与える影響について発表した。
44 日本臨床神経生理学会	大野	2025年11月	第55回学術大会にて、コバルト嗅覚提示装置を用いた柑橘臭が事象関連電位に与える影響について発表した。
45 社会情報学会中国四国支部	中野	2025年12月	研究発表会にて、自治体規模別にみるオープンデータの取り組み状況の比較分析結果を発表した。
46 電子情報通信学会 言語理解とコミュニケーション研究会	奥村	2026年3月	共同研究の成果として、大規模言語モデルによるクエリからの分類記号(日本十進分類法)の自動推定について発表した。

※誌面の都合上、法人格等を略記しています(株=株式会社、一社=一般社団法人、公財=公益財団法人など)。

武庫川女子大学 社会とつながる学び事例集2024/2025

社会情報学部 社会情報学科 | 情報メディア専攻 | 情報サイエンス専攻 |

社会情報学部公式HP  
<https://ssi.mukogawa-u.ac.jp/>



# 社会とつながる学び

## 事例集 2024/2025

社会情報学部

社会情報学科



武庫川女子大学

活動期間：2025年4月～11月

## 廃棄段ボールで商店街を活性化するアイデアが ビジネスプランコンテストで優秀賞を受賞

【主催】一般社団法人兵庫県中小企業診断士協会

兵庫県内の大学生を対象に独創的なビジネスのアイデアを競う「未来を創るビジネスプランコンテスト2025」に、本学科の3年生10人(2グループ)が参加しました。一次選考を通過した1グループは、**商店街の空き店舗と廃棄段ボールを有効活用して、近隣の乳幼児と母親の出会いの場を実現するとともに、商店街の活性化を目指すアイデアを提案しました。**一次選考後、3か月にわたって中小企業診断士からの指導を受けながらアイデアをブラッシュアップし、最終プレゼンテーション選考では**優秀賞**に選ばれました。



Voice

実際に商店街を歩き、地図やインターネットでは見えないリアリティを大切にしました。中小企業診断士の方々の厳しいチェックを踏まえて何度も徹底的に議論し、切磋琢磨した経験が、大きな財産です。



⇒ Pick

## キャンパスを飛び出して、

活動期間：2025年5月～2026年2月

## AI搭載型翻訳機を用いて 外国人観光客を受け入れる実証実験に取り組む

【連携先】ポケット株式会社 / EXest株式会社 / 丹波篠山市観光協会



AIを搭載した翻訳機を活用し、インバウンド観光客の受け入れを通じて地域経済の活性化を目指す産官学連携プロジェクトに参加しました。学生は丹波篠山市観光協会と連携し、**丹波篠山市の城下町を中心としたモデルコースを作成。**AI搭載型翻訳機「ポケット」を用いて、**実際に外国人観光客へガイドングを実施しました。**さらに、実証実験後には外国人旅行者向けWEBサイトで試験販売を行い、集客を目的としたWEB広告の作成にも取り組みました。

Voice

ツアーの価値は、コミュニケーション設計と情報設計に左右されることを強く実感しました。AI翻訳機を使えば課題が解決するわけではなく、翻訳機を使う場面と直接話す場面を判断することが重要だとわかりました。



Up! ⚡

## 多彩な学びに挑戦しよう

活動期間：2025年5月～2026年1月

## ビュッフェ形式やスイーツ系メニューを取り入れた 若い世代が楽しめるおせちイベントを企画

【連携先】株式会社ナカノモードエンタープライズ(板前魂)



おせち料理に関する意識調査を実施した結果、若い世代でおせち離れが進んでいることが明らかになりました。**そこで、ビュッフェ形式でオリジナルおせち重を作る学内イベントを企画しました。**スイーツ系のメニューを多く取り入れるとともに、SNSに投稿したくなる写真スポットを設けるなど、若い世代が楽しめる工夫を随所に展開。その結果、アンケートでは**参加者全員が「満足」と回答し、好評を得ました。**イベントの企画から開催までの過程をまとめた記事は、WEBメディア「神戸ジャーナル」に掲載されました。

Voice

オリジナルおせちを作る体験には楽しさと感動があり、若者がおせちの魅力に触れる貴重な機会になりました。記事作成では没入感を文章で表現する難しさを実感し、相手の立場を意識する重要性を学べました。



活動期間：2025年度

## 村民との交流を通じて食の魅力を再発見し 奈良県御杖村の経済活性化を目指す

【連携先】奈良県御杖村 / 大阪経済大学

奈良県と三重県との県境に位置する御杖村において、村内経済の活性化を目的とした取り組みを実施しました。学生は**田植えを手伝いながら生産者の方々にお話を伺い、米づくりに込められた想いや価値への理解を深めました。**また、販売拠点となる道の駅では、来店者の導線や滞在時間を分析し、現状を把握したうえで課題を抽出。**得られたデータを分析して、具体的な戦略提案を行いました。**本調査は大阪経済大学情報社会学部のゼミと共同で実施し、大学の垣根を超えた協働による実践的な試みとなりました。

Voice

道の駅では多くの方々が調査に応じてくださり、現場で生の声を集める重要性を実感しました。また、伊勢本街道の休憩所にて他大学の学生や村の方々と深く意見を交わし、多様な視点から地域課題に向き合う姿勢を学べました。



# 学外から高い評価を獲得!

学生が取り組んださまざまなプロジェクトが、学外から高い評価を受けています。社会に影響を与えるコンテストへの応募や、地域を巻き込んで実施したプロジェクトなど、学生の発想や行動力が社会に認められています。

活動期間：2025年9月～2026年1月

## WEBメディア「神戸ジャーナル」の記事を作成し、1件が月間PV数ベスト5にランクイン

【連携先】株式会社ジャーニーゾーン

国内有数のローカルWEBメディア「神戸ジャーナル」と連携し、記事制作に取り組みました。学生は編集長からローカルWEBメディアの特性に関する講義を受けた後、編集者としても活躍する記者から、記事の企画や取材、原稿作成について学びました。その後、自ら取材先を探して交渉から執筆までを担当。学生が作成した記事9件が「神戸ジャーナル」に掲載され、なかには月間PV数が7万を超え、月間PV数でベスト5に入る記事もありました。



活動期間：2025年度

## 「副首都・大阪」をテーマにしたプレゼンテーションで特別賞を受賞

【連携先】大阪府・大阪市 副首都推進局

「副首都・大阪」の認知度向上に向けた取り組みの一環として実施された、リサーチ・プレゼンテーション事業に参加しました。「副首都・大阪」に関する社会課題を検討する中で、東大阪地域の町工場に着目。地域の中小製造業や東大阪市の担当部局、商工会議所に対して、現状の取り組みと課題を把握するため現地調査を実施しました。成果発表会では、ものづくりの人材育成を目的とした体験型施設「まいど2.0」の導入を提案し、特別賞を受賞しました。



活動期間：2024年9月～2025年1月

## ビジネスアイデアコンテストで「近畿経済産業局長賞」を受賞

【連携先】近畿経済産業局

知財を学びながら新たなビジネスアイデアを創出する「知財ビジネスアイデア学生コンテスト」に2チームが参加しました。フードコートのようなイートインスペースでの多様性配慮への課題を画像認識技術で解決するビジネスや、チケット転売や本人確認システムなどエンタメ関連の課題を2件の開放特許を組み合わせて解決するビジネスを提案。後者の提案は、最優秀賞にあたる「近畿経済産業局長賞」を受賞しました。



# 企業と協働し、新たな価値を生み出す!

活動期間：2025年9月～2026年1月

## Z世代をターゲットとした機能性下着を提案

【連携先】株式会社HEAVEN Japan

機能性下着に若年層向け商品が少ない点に着目し、下着メーカーにZ世代向けの商品開発を提案しました。競合他社製品との比較分析やZ世代の下着に関する意識調査を実施。ブラトップや「24時間ブラ」などを提案し、「下着の市場ではなくファッションの傾向から考える視点は、新しい市場の開拓にも生かせる」という評価を得ました。

活動期間：2025年度後期

## 多様な事業領域を紹介するプロモーション動画を制作

【連携先】日本山村硝子株式会社

日本山村硝子株式会社の企業イメージの向上や事業の認知拡大を目的に、日本で初めてペットボトル用キャップの水平リサイクル(キャップtoキャップ)を実現したこと、工場野菜ビジネス、介護者支援商品など、各事業領域のプロモーション動画を制作しました。

活動期間：2024年9月～2026年3月

## 大阪・関西万博で「お菓子みくじ」と「お菓子神社」を展示

【連携先】お菓子が世界にスマイルプロジェクト/株式会社吉寿屋

日本の菓子メーカーがお菓子の魅力を大阪・関西万博で伝えるプロジェクトに参加。学生が企画した「お菓子みくじ」と「お菓子神社」が7月に万博会場で展示されました。その反響を受け、展示は「お菓子ミュージアム天保山」にも展開され、学生が各種メディアへの対応も行いました。

活動期間：2023～2025年度・各前期

## 阪神電車の顧客満足度を向上させるショート動画を制作

【連携先】阪神電気鉄道株式会社

本学科の学生を対象に、阪神電車の顧客満足度に関する調査・分析を実施。その結果を踏まえて、阪神電鉄に顧客満足度向上のための提案を行いました。若い世代へのブランド価値向上を目的として制作したショート動画は、阪神電鉄の公式YouTubeチャンネルに掲載されています。

# 成果を学会やコンテストなどで発表!

日々の研究成果やプロジェクトの取り組みの成果を、学会やコンテストで積極的に発表。AIや医療などさまざまな分野で、新たな知見の蓄積に貢献しています。

発表年月：2025年11月

## 卒業研究の一部を日本臨床神経生理学会で発表

【主催】日本臨床神経生理学会

脳波計測や筋電図解析などを専門とする「第55回日本臨床神経生理学会学術大会」に参加。卒業研究で行っている実験成果の一部を「コバルド嗅覚提示装置を用いた柑橘臭が事象関連連電位に与える影響」という題名で発表しました。



活動期間：2025年6月～11月

## 青山学院大学と連携し学外コンテストへ挑戦!

【連携先】青山学院大学社会情報学科村田ゼミ

青山学院大学と混成チームを組み、各種ITツールを駆使して完全オンラインで活動。前期はデザイン思考を用い「テクノ愛」で健闘賞を受賞し、後期は学生主体で複数の学外コンテストに挑戦しました。



活動期間：2025年度

## 環境省が提唱する「プラスチック・スマート」プラごみの分別啓発や海ごみの削減に向けて取り組む

【連携先】環境省/兵庫県環境整備課/帝人フロンティア株式会社

「クリーンアップひょうごキャンペーン」の一環として、甲子園球場でプラスチック回収とプラごみの分別啓発のための活動を実施。啓発動画・ポスター、ノベルティ用シールなどを作成。キャンペーン最終日にメリケンパークで開催された「Grateful Day」イベントでは、司会進行、会場運営と同時に、ブース出展も行い、子どもたちにポイ捨ての問題を身近に感じてもらった体験型「プラごみ釣り」を実施。これらの活動を「ひょうごエコフォーラム」などで発表しました。



活動期間：2024年4月～2026年3月

## 丹波篠山市の郷土食と祭礼の記録動画を作成し、地域文化を発信

【連携先】兵庫県丹波県民局/丹波篠山市/実践女子大学

丹波篠山市の地域文化である郷土食と祭礼の記録・継承を目的に、デジタル媒体での記録と地域外への発信に取り組みました。本学と大学間包括連携協定を結ぶ実践女子大学と合同でフィールドワークを行い、350年以上続く篠山地方の三大祭の一つ「春日神社秋祭り」に事前準備から参加。学生が作成した祭礼の記録動画や郷土食の動画は丹波篠山市観光協会の公式SNSに掲載され、マスメディアでも取り上げられました。



# 地域と共に、未来を創る!

活動期間：2025年度～現在

## 市職員研修に用いられるVRシステムを開発

【連携先】神戸市福祉局/株式会社ワイドソフトデザイン

福祉局職員の新人研修用VRシステムを共同開発中です。ワイドソフトデザインと連携し、学生はシナリオの自動生成技術を研究しています。状況に応じ再現内容を柔軟に変更できる可変型システムを実現。操作パラメータと物語のキーワードを連動させる、高度なシステム開発に挑みます。

活動期間：2025年度

## 技術開発で成長する企業の戦略に触れる

【連携先】株式会社シャルマン/福井県大阪事務所

福井県の技術開発企業を訪問し、技術開発と成長戦略について考えるイベントを実施しました。鯖江市でメガネの一貫生産に取り組むシャルマン社を訪問し、柔軟性に富んだチタン合金の開発や新素材に適した新しい微細接合とそれを用いたデザインや装飾などについて説明を受け、機能的価値と意味的価値の双方について検討を行いました。

活動期間：2023年度～現在

## 「尼みつ」の認知拡大を目指してカフェで展示や販売を行う

【連携先】尼崎鉄工団地協同組合/ヤドリキ商店/ワークキューブほか

尼崎市で採れたハチみつ「尼みつ」の認知拡大とイメージ浸透のための活動を行いました。芦屋市役所内のカフェにて、展示およびクリスマスセットの販売を実施。また、尼みつの採取過程で得られるミツロウを活用したミツロウアートも展示しました。今後は子ども食堂でのイベントを企画しています。

活動期間：2021年度～現在

## 廣田神社の体験型イベントをゼロから企画運営

【連携先】廣田神社/株式会社ロータリービジネス

「ひろたのエンカルマルシェ」を企画から担当。エンカルクイズに答えながら絵を完成させる重ね押しスタンプラリーや、印刷端材を活用した子どもワークショップ、古着の交換広場の設置など、附属幼稚園にも協力いただき、環境と地域をつなぐ5つの体験型イベントを運営。地域の方々と共に、持続可能な未来を考える機会を創出しました。

発表年月：2025年9月

## 嗅覚順応による影響をシンポジウムで発表

【主催】計測自動制御学会

脳機能計測を専門とする「計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2025」に参加。卒業研究の実験成果の一部を、「嗅覚順応の有無が事象関連電位(ERP)変化に与える影響」という題名で発表しました。

活動期間：2025年7月～2026年1月

## 高齢者と直接交流し健康調査を実施

【連携先】J-MICC Study 京都フィールド

3年生と4年生が、文部科学省科学研究費「健康追跡10万人×30年調査 J-MICC Study」の京都フィールド調査に参加しました。高齢者と直接交流しながら足裏感覚計測を実施し、調査を通して研究の現場を体験しました。

発表年月：2025年8月

## 数学ソフトウェアの開発について発表

【主催】京都大学数理解析研究所 (RIMS)

京都大学数理解析研究所で行われた「数学ソフトウェアと効果的教育利用に関する研究」研究集会において、卒業研究の成果「大学基礎数学のための三次元グラフ作成ツールの開発」について口頭発表を行いました。

活動期間：2025年6月～8月

## LINEで観光資源を発信するアプリを提案

【主催】アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

地域創生・社会課題解決AIプログラミングコンテスト「AWS デジタル社会実装ツアー2025 大阪」に3年生の学生3人が挑戦。世界遺産・大仙陵古墳をはじめとする堺市の魅力をLINEを通じて発信するアプリを提案し、本選出場を果たしました。